

過去の最終候補地選定のための比較項目・比較内容と評価基準(平成26年2月に最終候補地を選出)

基本方針	比較項目	比較内容	評価ランク	配点
故人との最後の別れのセレモニーにふさわしい火葬場	① 周辺の環境	静かな場所であるか	静かな場所をA、人の生活音がある住宅の近くをB、大きな音がある場所をC	3
		自然豊かな場所であるか	森林や里山など緑に囲まれた場所をA、田畑に囲まれた場所をB、住宅地に囲まれた場所をC	3
		不快な臭いがないか	臭いがない場所をA、季節・天候により臭いがある場所をB、臭いがある場所をC	3
	② 眺望景観	眺望が開けているか	高台で遠方を望むことができる場所をA、ある程度の眺望が確保できる場所をB、山や建物などに遮られ、近景しか望めない場所をC	3
		望む景色が美しいか	飛騨山脈などの雄大な景色が望める場所をA、山並みや市街地を望める場所をB、近景の人工構築物の景色をC	3
	③ 敷地面積の確保	施設整備のための十分な敷地の確保ができるか	現在の状況で緩衝帯となる敷地がある場所をA、緩衝帯の整備が可能な場所をB、最低限の施設整備敷地しか確保できない場所をC	3
近隣住民の生活環境に配慮した火葬場	④ 景観への影響	施設建設による敷地の景観への影響があるか	施設整備により今よりも景観が良くなる場所をA、現在とあまり変化がない、施設が見えない場所をB、周辺から見晴らしが良いため、施設がよく見える場所をC	3
	⑤ 周辺の民家からの見通し	周辺の民家から火葬場施設を見通せるか	周辺の民家から、施設が見えない場所をA、施設が見えにくい場所をB、施設が見通せる場所をC	3
	⑥ 周辺道路への影響	火葬時間帯における周辺道路への影響があるか	参列者の車による渋滞の心配がない場所をA、参列者の車により渋滞が予想される場所をB、現在も渋滞している場所をC	3
		施設進入路付近に民家などが存在するか	施設への進入路付近に、民家などが無い場所をA、公共施設、工場などがある場所をB、民家がある場所をC	3
	⑦ 生活圏の近接度	10軒以上の民家が集まる場所までの距離	1km以内に集落がない場所をA、300m以内に集落がない場所をB、300m以内に集落がある場所をC	3
	⑧ 廃棄物・汚泥処理施設の有無	一般・産業廃棄物や汚泥処理施設が1km圏内に存在するか	無しをA、1か所をB、2か所以上をC	3
建設及び維持管理のコストを考慮した火葬場	⑨ インフラ整備費用	建設に係るインフラ整備費用	インフラ整備にかかる概算費用を積算。敷地造成費用、取付け道路新設・拡幅費用、上下水道整備費用の合計金額を比較	9 ※1
	⑩ 用地取得費用	用地取得に係る費用	取得面積により費用が増減するため、必要最低敷地面積の5,000㎡の購入金額を比較	
	⑪ 除雪費用	施設までの新たな除雪費用	新たに除雪が必要となる道路の延長から年間除雪費用を試算。施設の耐用年数を50年と仮定し、50年分の金額を比較	
ユニバーサルデザインに配慮した火葬場	⑫ 利用者の利便性	市中心部からの所要時間(最も利用の多い地域の利便性を重視)	市中心部からの所要時間が、10分未満をA、20分未満をB、20分以上をC	3
省エネルギー対策など自然環境に配慮した火葬場	⑬ エコ技術採用の可能性	地形を活かしたエコ技術の活用が期待できるか	現況のままでエコ技術の活用が期待できる場所をA、何等かの手立てによりエコ技術の活用が期待できる場所をB、あまり期待できない場所をC	3
	⑭ 自然環境への影響	敷地面積確保のための開発が必要か	開発を伴わない場所をA、牧草地・雑木林の造成程度の開発が必要な場所をB、森林開発が必要な場所をC	3
評価点数				54

※1 建設及び維持管理のコストを考慮した火葬場 に伴う比較点数の考え方
それぞれの項目の金額を百万円単位で四捨五入し、その合計を金額点数として
最低額を9点に最高額を1点とし、120点ごとで評価点とした(右表参照)

金額点数	100～ 220	221～ 340	341～ 460	461～ 580	581～ 700	701～ 820	821～ 940	941～ 1,060	1,061～ 1,180
評価点	9	8	7	6	5	4	3	2	1